

子供たちにエールを贈ります

子供輝く  
@TOKYO

日頃から学校を支えていただいている  
皆様からのメッセージ

見つめよう  
今と未来の  
わたしたち



この度、日頃から学校を支えていただいている皆様から、子供川柳を  
読んだ感想やメッセージをいただきました。御紹介します。



世田谷区 民生委員児童委員協議会 様

感染防止のための、マスクだけではないたくさんの我慢を、本当に頑張っている様子、それでもお友達とまた楽しく過ごしたい！という気持ちが伝わります。

「マスクの下の笑顔」という言葉に、心打たれました。

渋谷区 小学校放課後クラブ 様

子供川柳を読んで、子供たちの素直な気持ち、感謝の気持ち、思いやりの気持ち、たくさんの思いが伝わってきました。

大人も子供もコロナ禍での気付きはたくさんあったかと思えます。

今後の見通しが立たない中ではありますが、我慢していた分、コロナが終わったらたくさんやりたいことをやって、いろんなことに挑戦しましょう…！

豊島区 小学校PTA副会長 様

コロナに関する川柳を見ました。

とってもかわいらしい表現をしていますが、コロナで遊べない、楽しくない、など悲しい内容が多く胸が痛くなりました。

早く今までの伸び伸びとした環境で遊んだり、勉強したり、できたらいいなと思えます。

笑顔たくさんの楽しい毎日がもうすぐ来ますよ！何したい？と夢も聞いてみたいです。

当校の校長先生もPTA会長も、いつも子供たちに楽しいことを考えてくれています。

学校のPTA活動ももっと盛んにできるように企画していきたいです。

コロナ禍でもできる楽しい遊びを考えていきたいです。



#### 豊島区 P T A 役員 様

子供たちの思い思いの言葉で、表現する感性に素晴らしさを感じました。  
言葉は魔法で、人を幸せにします。

#### 東村山市 小学校コミュニティ委員 様

コロナ感染症が蔓延している中で、マスクなどの用語が多く見られます。  
しかし、自分のやりたいという気持ち、楽しかったことを表している川柳もあり、心が疲弊しているばかりではないことに少し安心し、希望がもてました。

#### 東村山市 社会教育委員 様

五・七・五の17音で気持ちを表現する中で、多くの句がありましたが、一つとして同じ句がないことに気付き、児童・生徒達の豊かな感性を感じることができました。

中には、悲観的な作品も見受けられましたが、当たり前と考えていた今までの生活を「光る過去」と表現し、かけがえのない自由で楽しい生活だったと振り返った句には思わずハッとさせられました。

家族の在宅勤務（リモートワーク）により、家に家族がいてくれることの大切さを知ったり、幸せの意味を考えたり、自分のことだけではなく、医療従事者や困っている方々に対し、人事を尽くしている方々に感謝したり、自分の行動が友人や他者を守ったりすることに気付いたと詠んだ句を見て、今回の子供川柳の企画は、「自分のことだけでなく、周りを見渡してみるよい機会になったのではないか」と思いました。

中学生以上の生徒では、コロナ禍で2年が経つうちに友人の素顔も知らないまま（マスクをしたままなので）で過ごしていて悲しいという作品も多く、改めて子供たちの直面している現状を知ることができました。

児童・生徒の詠む句が明るく未来のある題材となるよう、コロナウイルス感染症の終息を願わずにはられませんでした。

また、僅かながらではありますが、私自身もさらに気を付けていこうと思うばかりです。



#### 東村山市 社会教育委員 様

コロナによるいろいろな制限のもと、子供たちが思いっきり外で遊び、声を出し、行事に臨みたい気持ちがひしひしと感じられてとても切ない思いがした。

「当たり前」が「当たり前でない」日々は早く収束してほしい。

地域の健全育成行事(野外キャンプや子供まつり等)もほとんど中止状態、マスクを外して笑いあえる日々が待ち遠しい。

子供たちよ! もうしばらく我慢して、楽しい未来を思い頑張ろう。

#### 福生市教育委員会 様

子供たちはコロナ禍の日々、健気に学んでいます。

子供川柳からは、そんな子供たちが内面に抱く様々な感じ方、考え方が伝わってきます。

作品には子供たちの実感が込められており、それは、私たち大人に、人間としての在り方、生き方を改めて考えさせる視点を与えてくれるものでした。

子供たちの健全育成に全力で取り組む決意を新たにさせていただきました。

#### 福生市 小学校コミュニティ・スクール委員会 様

コロナ禍にあって、子供たちの悲痛な叫びが聞こえます。

忍耐の毎日の中でも、みんなで一緒に心を緩めず頑張ろうとの歌も見受けられ、一歩前に進もうと生きるチカラが読み取れました。

#### 福生市 放課後クラブ 様

大人が思っている以上に子供たちもコロナの恐ろしさや、コロナ禍での生活の大変さを感じていることが分かりました。

そんな中でやりたいことや行きたいところが表現されていて、みんなでコロナを乗り越って明るい未来に向かっていこうという気持ちが感じられました。

できることをしながら大人も子供も協力し合っていきたいなとこちらも元気をもらいました。